

謹賀新年



多古町議会議員

菅澤 昌則

新年あけましておめでとうござい
ます。町民の皆さまには穏やかな良き新春
をお迎えになられたことと心よりお慶
び申し上げます。
昨年、私ども議員は議員選挙の年
で、新人2名が加わり新たな多古町議
会がスタートしたところですが、今ま
で以上に責任の重さを痛感いたしてお
ります。
現在、多古町として一番の課題は少
子高齢化による人口減少にあります。
そのような中、多古台に子育て支援の
象徴ともいえる「多古こども園」が開
園し、順調な運営がなされています。
また、隣接するマストシティ多古アト
リエヒルズの住宅建設も着々と進んで
おり、若い世代の転入・転居によって



多古町長

菅澤 英毅

輝かしい新春を迎え、謹んでごあい
さつ申し上げます。
町制60周年というひとつの節目を経
て、新たなスタートを踏み出した多古
町は、今まさに大きく変わろうとして
います。
新しいまちとして誕生した多古台で
は、商業施設や公共交通施設が開設
し、住宅開発の第2期分譲計画が決定
するなど、さらに充実したものと順
調に推移しています。町行政としまし
ても、染井・多古台線など道路環境の
拡充をはじめ、子育てしやすい環境が
整備された特色あるまちづくりに向け
てまい進しているところであります。
また、成田国際空港の機能強化につ
いて議論が活発化し、空港周辺の自治
体を取り巻く環境には大きな変化が生
じようとしています。昨年中には、

「成田空港に関する四者協議会」が2度
開催され、空港間の競争力向上の観点
から3本目の滑走路についてはB滑走
路の南側へ整備する案、B滑走路を北
側へ延伸する案を議論の基礎として今
後は調査・検討を進めていくことが確
認されています。このような状況の
下、町としては騒音地域に十分配慮し
た形での周辺地域の土地利用・道路整
備・企業誘致・圏央道の早期完成支援
などを強く推進し、空港との共生・共栄
を図っていききたいと考えております。
教育面につきましては、「多古町学
校教育ビジョン」に基づき幼・小・中
とが連携した一貫的な教育に取り組む
とともに図書室などの教育環境を充実
させながら、未来の多古町を担う人材
育成にも努めてまいります。
地方による自主的で自立した自治へ
の転換が求められる中、昨年中には人
口減少がもたらすさまざまな課題に対
し、地域の特色を活かした施策を展開
して人口減少に歯止めをかけるために
「多古町まち・ひと・しごと創生総合
戦略」を策定しました。
2016年は、前述しましたような
多岐にわたる分野において皆さまとの
協働により町の活性化をさらに進め、
夢と希望を実現するために尽力してま
いる所存です。
人口減の歯止めとなることが期待され
ております。今後、若い人たちが多古
町に定着するためには、雇用の場の確
保、より子育てしやすい環境づくり
に取り組んでいかなければならないと考
える次第であります。
今、多古町を取り巻く情勢は、成田
国際空港機能強化のために動き出した
第3滑走路整備にかかる騒音対策と地
域振興、圏央道の県内ルートで唯一未
開通の大栄JC〜横芝松尾IC間の早期着
工ならびにサービシアなど休憩施
設の設置要望、国の地方創生総合戦略
に基づく「多古町まち・ひと・しごと
創生総合戦略」の具現化など、町議会
としても町民の代弁者としてその使命
を果たすべく積極的にかかわっていく
所存であります。
これからも多古町議会は、未来の元
気な多古町のため活力ある産業を創っ
ていくこと、誰もが幸せに暮らし多古
に住んで良かったと言われるまちづく
りを、町行政・議会・町民の三本の矢
が一本の太い矢となって実現するため
まい進してまいります。
結びに、町と町民の皆さまにとりま
して本年が輝かしい良き年でありませ
うことを祈念申し上げます。年頭のあいさ
つとさせていただきます。



上空から望む、多古台の新しいまち